

すばる新聞

第34号
発行
市川昂高校
市川市東国分
1-1-1

人は目標を立てたときからその方向に心も体もマスターします。まず目標を立てることから始めよう。

一人一人がオンリーワンの存在であり、自分の道を見つけて欲しい

新任式・始業式

4月8日(月)平成25年度新任式・始業式が行われた。本年度着任された先生方は次のとおり。
教頭・川崎浩一(西部図書館協力課長)【国語科】光山亜希子(長生高校・教諭)・宮下真佐子(佐倉西高校・講師)・中村由香里(講師)・内藤絢子(講師)【地歴公民】三橋久雄(松戸国際高校・教諭再任用)・森野義徳(船橋啓明高校・教諭再任用)・吉井哲(千葉高校・教諭)・渡部聖一(薬園台高校・教諭)【数学科】秋葉裕恵子(市川東高校・教諭)・梅田真梨奈(教諭・新採用)・郡司天啓(講師・新採用)【理科】豊島脩平(教諭・新採用)・鬼頭升(講師)【美術】中村禮子(非常勤講師)【中国語】于平(特別非常勤講師)【韓国語】水谷清佳(特別非常勤講師)【家庭科】久間容子(非常勤講師)【事務】宮本淑子(主事・臨)

平成25年度 新入生327全校974名

一日にも早く昂高校に慣れて本校発展のために力を発揮してほしい。引き続き、賞状伝達式があり、吹奏楽部・第14回、洗足学園ジュニア音楽コンクール打楽器部門・アンサンブル部門優秀賞2位、第26回千葉県ソロコンクール・クラリネット部門銀賞 佐藤梨香さんが表彰を受けた。
始業式では柴田校長は「新3年生は進路への覚悟、2年生は学校の中心として要・学校運営の中心となつてほしい。また全員が何のために高校に来ていのかを問い続けてほしい。基本的には勉強ですが、学校の勉強だけでなく、自分で勉強する。きちんと計画を立てることや今のうちに勉強の癖をつけておくことが大切である。」



担任の呼名で生徒は起立、学校長から入学許可

第3回入学式

翌日の8日には第3回入学式が挙行された。柴田校長から真

と語った。また伝えたいこととして3つ項目をあげた。「目標を持つてほしい」「毎日をしつかり精一杯生きよう」最後に「グローバル化や国際化の波に乗り、海外に目を向け、外国の文化や人々と接する、そのためには言葉を学ぶこと」を訴えた。

新しい制服に身を包んだ新入生327名の入学が許可された。式辞で校長は次のように述べた。
「第一に学校の教育理念『生命』『感謝』『審美』『言葉をよく理解して、大切にしたい。』
第二にルールを守り、マナーを大切にしたい。
第三に目標を持って高校生活を送って欲しい。」
また、「生徒一人一人がオンリーワンの存在であり、自分の道を見つけて欲しいと言っています。その為に、みんなが高校時代に色々な体験経験が出来るようにしていきたいと思っています。それらの経験の中から上級学校に進学するにしても、就職するにしても自分自身をきちんと見つめて、誰でもない自分自身の道を決めて下さい。」と語った。

離任式

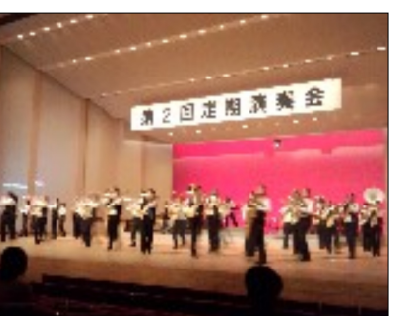
4月12日(金)には昨年度3月末日まで勤務され、市川北高校・市川西高校そして統合した市川昂高校で活躍された先生方の離任式が行われた。最長で10年間勤務された数学科の館野文彦先生は、市川西から市川昂



離任される先生方へ花束の贈呈

吹奏楽部定期演奏会

4月6日(土)市川市文化会館にて吹奏楽部第2回定期演奏会が開催された。当日は悪天候に見舞われながらも、大ホールを埋めるほどの観客が来場した。三部構成で、第二部ではステージドリルとミュージカル「美女と野獣」の融合がステージ上で披露された。



ステージドリルの一コマ